



第39回福岡歯科大学 臨床セミナー

松本 和磨(36期生)

令和5年6月11日に、福岡歯科大学4階実習室にて福岡歯科大学同窓会主催第39回福岡歯科大学臨床セミナーが開催されました。テーマは「歯内療法に自信を持って取り組むために実践!! 歯内療法コース」と題し、上田秀朗先生から歯内療法の手技性を高めるための臨床的なアプローチをご紹介いただきました。歯内療法の上達は、臨床医のステップアップのために避けて通れない関門であるとのお考えから、より良い臨床結果と安全である治療法を研鑽され続けた中でたどり着いた見解やテクニックをご教授いただきました。コロナの感染症法上の位置付けも変わり、ハンズオン形式での開催を実施することができ、多くの先生方に参加していただきました。

今後も臨床スキルアップセミナー等の今年度の同窓会事業開催が予定されておりますので、ぜひ多くの皆様にご参加いただければと思います。



令和4年度 定時評議員会・定時総会報告

福岡歯科大学同窓会専務理事 江藤 ゆかり(12期生)

令和5年6月17日電気ビルにて、令和4年度福岡歯科大学同窓会第59回定時評議員会、第45回定時総会が開催されました。定時評議員会は、鹿児島県同窓会の要光評議員が議長、長崎県同窓会の渡邊知英評議員が副議長に選出され、7議案すべてが可決されました。

- 第1号議案 令和4年度福岡歯科大学同窓会事業報告・収支決算書について
- 第2号議案 特別会計令和4年度福岡歯科大学同窓会特別支援事業報告・収支決算書について
- 第3号議案 令和5年度福岡歯科大学同窓会事業計画(案)について
- 第4号議案 令和5年度福岡歯科大学同窓会収支予算(案)について
- ①一般会計 ②特別会計
- 第5号議案 特別会計令和5年度福岡歯科大学同窓会特別支援事業 収支予算(案)について
- 第6号議案 令和5年度会費免除の承認について
- 第7号議案 福岡歯科大学同窓会創立50周年記念事業準備特別委員会の設置について

その後、定時総会が開催され、終了後、参議院議員で母校8期卒の比嘉奈津美先生から、「歯科界の未来のために」というテーマで講演会が行われました。今回は初の試みとして、評議員から事前質問を受け付け、総会当日は一般会員も評議員会にオブザーバー参加を可能として評議員会・総会全体の所要時間の短縮を図りました。終了後、ホテルニューオータニ博多にて懇親会を開催して盛況のうちに終了しました。

会員の先生方のご協力に感謝申し上げます。



助けられての20余年

友岡 浩志(25期生)

こんにちは。25期卒業の友岡浩志です。早くも長く卒業20余年過ぎてしまいました。私は卒業後初年から大分県別府市にあります父の医院に勤務しました。数名体制の歯科医院でしたので、その後も多くの同窓の先輩や後輩と一緒に仕事をする事ができ、私の歯科医師としての今をつくってくれました。

一人の患者さんの様々な問題と向き合うことを目標に、小児から歯周管理、欠損修復、矯正、訪問診療と、一人では手に余るところを妻(同期)との連携を中心に、勤務医の先生方や外部のスペシャリストとの連携にも助けられました。

結果、長い付き合いになった患者さん、スタッフ、歯科医師仲間と共にどうにか楽しく毎日の診療に携わっています。

永続できる診療体系を目指し、まだまだ研鑽は必要ですが、気心知れた同窓生との縁を中心にモチベーションを保っていきたいと思っています。

今年10月の同期同窓会が待ち遠しく、いまだに賑わう同期との歯科治療の話を楽しみたいです。



卒業生 NOW

卒業から現状を振り返って

陶山 弘暉(41期生)

皆様こんにちは。41期卒業の陶山弘暉と申します。私が卒業してから今年で早くも5年目となりました。卒業後は長崎大病院にて研修し、その後は同院口腔腫瘍治療学分野教室に入局しました。また、同時期に長崎大学大学院にも入学し、臨床研究も併せて行いつつ、現在に至るまで様々な症例に向き合い、日々多くの事を経験させていただいております。

年数を重ねていくたびに、口腔癌や顎骨壊死の患者様と接することが多くなり、術前後の診察時に「あの時の説明や対応はこうすれば良かったな。」と反省しつつ過ごしております。また、入局4年が経ち、新入の先生方や学生に質問される機会が増えてきました。分かりやすく教えるには、どのようにしたら良いのか、日々試行錯誤しております。教える立場になることで、自分が疎かにしていた部分に分かり、再度学習することで理解をさらに深めることができています。今年は大大学院も4年目で、学位と口腔外科認定医の取得を目標としています。そのため外来での臨床を行います。

これからも患者様の口腔環境をより良く保てるよう日々精進していきたいと思っております。

